

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	販売量の動き	・3か月前に前年比96.5%だった累計販売点数は98.7%、96.5%だった累計客数は98.5%となり若干良くなっている。
		乗用車販売店（副店長）	販売量の動き	・過去3年の店舗の新車販売実績を比較すると、最も実績が良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・最需要期を迎えたため売上は伸びているが、前年同月比では本年度は悪い。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・平日の動きが良くなってきている。
		その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	販売量の動き	・バーゲンが始まり販売量が増加しているため、単価は低いものの売上は伸びている。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・トップシーズンに入っており、昨年に比べて来客数・販売量ともに多くなっている。
		観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・11月は婚礼部門で件数・売上とも前年の倍以上で推移しており、全館の売上を引っ張っている。宿泊、飲料部門でも順調に推移しており、特に飲料部門では外来客の利用が増えている。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・宿泊客数は3か月前とほぼ同数だが、宴会等の利用客数は大幅に上回っている。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・来園者数が期間を通して前年を上回る日数が多くなっている。一方、売店、レストランの客単価が前年比で落ち込んでおり、行楽にかかる費用を抑える節約型の利用が定着していることがうかがえる。
		テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・週末ごとに崩れる天候の影響で来客数は伸び悩んでいるが、団体客、外国人観光客は徐々に戻ってきており、底を脱した感がある。
	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・ゴルフシーズンでもありこの時期だけは来客数が多くなっているものの、例年と比べると下降傾向にある。	
	変わらない	商店街（理事）	お客様の様子	・前半は30年続く恒例セールがあり、来客数、売上とも良かった。後半になって商圏内の大型ショッピングモールの増床や新規大型店舗オープンがあり、そちらに客が流れている。
商店街（代表者）		販売量の動き	・例年行っている商店街の抽選券の付いた売出しの状況が昨年と同じであった。	
商店街（代表者）		販売量の動き	・来客数は増加しているが、客単価は依然として変わらない。	
一般小売店〔茶〕（経営者）		販売量の動き	・今月は成績が良くなかった前年と同水準で推移しており、決算が赤字になることを懸念している。	
一般小売店〔印章〕（経営者）		お客様の様子	・駅の再開発のため周辺では7割が閉店し、来客数も少ない。当社駅支店では閉店セールを行っているが、売上は昨年より少し増加しただけである。	
百貨店（営業担当）		お客様の様子	・気温が下がらないので防寒衣料が大不振である。インナーのニットや流行物は動くものの、コート類は動かず客単価が低くなっている。	
百貨店（売場担当）		販売量の動き	・美術品や高級食器が売れているが、他のものは売れていない。	
スーパー（店長）		販売量の動き	・客単価に大きな変動はなく、3か月前とほぼ変わらない状況である。	
スーパー（店長）		来客数の動き	・1日当たりの来客数に伸びがなく売上も低迷している。	
スーパー（店長）		お客様の様子	・今月は気温低下が一時的にあったが、冬物の動きは良くなく来客数も増えていない。	
スーパー（総務担当）		来客数の動き	・決め買いの客が多く、衝動買いが少ない。	
スーパー（業務開発担当）		販売量の動き	・販売数量は前年比0.2%程度上がったたり下がったりで、ほとんど変化はない。また気温が高めのため、鍋材料が例年ほど動かない。	
コンビニ（エリア担当）		来客数の動き	・来客数の動きはほとんど変わらない。	
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・悪くはなっていないが、良くなっているとも言い難い。		

乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・11月の販売量は前年比135%となっているが、前年は補助金打ち切りの影響が大きく、前々年比では90%といまだ厳しい状況である。	
その他専門店 [時計](経営者)	販売量の動き	・宝飾品が売れなくなっており、高額品を買う客が減少している。	
その他専門店 [布地](経営者)	来客数の動き	・前半は客足が多少増加したが、後半は減少している。	
一般レストラン (経営者)	単価の動き	・景気の悪い状況が続いているため、客単価が低い。	
一般レストラン (外食事業担当)	来客数の動き	・ファミリー客が減少している。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・忘年会シーズンに入っているが、前年と比較して予約が減少しており、景気が悪いことを理由としたキャンセルもある。しかし、宿泊利用は前年と比べて2割程度増加している。	
タクシー運転手	来客数の動き	・売上はほぼ横ばいで、乗客数に伸びはない。	
タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーを利用する客の顔ぶれがあまり変わらない。	
通信会社(企画担当)	お客様の様子	・来月は年末商戦の時期にもなるが、関連の動きは全くないものの、客が消費にブレーキをかけている印象もない。	
通信会社(営業担当)	販売量の動き	・2、3か月前と比較して契約が増えている様子はみえない。	
通信会社(広報担当)	販売量の動き	・他社の新製品発売により影響が少なからずある。	
テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・来館者数、館内販売金額に変化がない。	
競艇場(職員)	販売量の動き	・来場者数、売上額ともに横ばいである。	
美容室(経営者)	来客数の動き	・毎年秋から冬に向けては来客数が少なくなり、それほど忙しくないうえに、今年は来客数がもっと落ち込むことを心配していたが、昨年と同じくらいである。	
美容室(経営者)	お客様の様子	・客の来店周期が伸び、商品購入意識が低下している。	
その他サービス [介護サービス] (介護サービス担当)	お客様の様子	・サービス利用者の日常生活の様子について話を聞いたり自宅を訪問しているなかでは、ここ最近経済状況が特別変わった様子は見受けられない。	
設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・受注の偏りが激しく、全体としての動きが計りにくくなっている。	
設計事務所(経営者)	お客様の様子	・一向に単価上昇に向かわず、客は安い商品ばかりに向かっており、安ければ良いとの声ばかり聞こえてくる。	
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・客が購入に対してより慎重になっている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・アーケード撤去の工事中でもあり、通行量が激減している。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・客からは景気の悪い話ばかりで、以前と比べても良い話は伝わってこない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・10月までの動きに比べ今月は来客数も売上も厳しい。中心部にあるデパートの来年3月の退店に伴う閉店セールの影響で、中年層対象の婦人服店等に多大な影響がある。
	一般小売店[酒店] (経営者)	お客様の様子	・大型店やディスカウント店の出店、地域イベントの開催、日照時間の減少などの影響で来客数が少ない。また収入の減少や年金減額問題も影響して節約志向になっており、同業者間でも販売の低迷状態は共通している。
	一般小売店[酒店] (経営者)	販売量の動き	・相変わらず飲料店の売上が減少している。繁華街に出ても歩いている人はまばらで、一部の店以外は閉古鳥が鳴いている。
	一般小売店[紙類] (経営者)	来客数の動き	・例年と比べて観光客が少なく売上も悪い。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・景気悪化と大型店の増床の影響で売上の減少に歯止めがかからない。館内全体では前年同月比で約85%程度まで落ち込み、個々の店舗は約70%が昨年を大きく下回っている。

百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・気温が高めに推移しているため、紳士・婦人服ともにコート、ジャケット、ブーツ等の冬アイテムの動きは厳しくなっている。また、お歳暮についても件数の絞込み、単価の低迷などがある。更におせちの受注も高額品の動きが低迷するなど、客の節約指向は強まっている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・婦人雑貨と子供服が比較的健闘しているものの、ブレタゾンなど高額ミセス衣料を中心にミセス衣料が苦戦するとともに、後半の冷え込みもあり売上が伸びず、店全体で前年比97%程度の見込みである。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・衣料品部門は気温に左右されるが、今月は前年同月より5度も高く冬物衣料の動きが弱くなっている。お歳暮関係でも客単価が下がり件数も減っている。その一方で、おせちなどの楽で便利な商品の売上は前年を上回っている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・商品群によって好不調が顕著に現れている。好調は食料品や化粧品、アクセサリーなどで、不調はアパレル全般、身のまわり品、家庭用品などであり、総じてやや下降傾向にある。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・今月は月初から例年より高気温が続き、冬物・防寒衣料の動きが鈍く、販売点数と売上高がともに前年を大きく下回っている。
百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・直近6か月の来客数は前年比増加で推移していたが、ここにきて減少傾向がみられるようになっている。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合店の出店、ドラッグストアの食料品販売の拡張、ディスカウント店の勢いが増している。客の低価格志向、節約意識がますます顕著に現れている。
スーパー（財務担当）	単価の動き	・競合店との価格競争により、1点単価と客単価が下落し、既存店売上の前年割れが続いている。
スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価、来客数とも減少している。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・来客数の前年比割れが始まっている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・客は先行きの不安から貯蓄しておく傾向にある一方で、今後なかなか良い商品がなくなると予想し、あえて購入するケースも増えてきている。呉服は日常品ではないので景気が悪くなると販売が難しいが、宮参り、七五三、結婚式等の行事を重視して着物を購入する客が増えてきている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	単価の動き	・単価の安い商品の動きは良いが、それ以外は厳しい状況である。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・来客数が減少している。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・客の動きが先月までより鈍い。
乗用車販売店（店長）	お客様の様子	・東日本大震災の影響が改善されたが、今度はタイの洪水で生産に影響が出ているため、客の購買意欲が低下している。
自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数や問い合わせ電話が減少しており、一般の客の動きが鈍くなっている。
その他専門店〔海産物〕（経営者）	販売量の動き	・先月は購買単価が上昇していたが、今月は単価も例年のように上昇してこず、来客数も例年より少なくなっている。
その他小売店〔ショッピングセンター〕（営業担当）	販売量の動き	・10月中旬から11月中旬にかけて気温が下がらず、重衣料の動きが非常に鈍くなっている。
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・最近の傾向として、客単価と組単価の減少が顕著になってきている。特にファミリー層にその傾向があり、来客数等はセールスで確保しても、売上増加につながっていない。
一般レストラン（店長）	来客数の動き	・夜の集客が大幅に減少している。足早に帰宅する客も多く、宴会の1組当たりの人数も少なくなっている。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	来客数の動き	・行楽シーズンであるにもかかわらず客の動きは鈍く、立ち寄って買う客はあっても買上点数は減少し、客単価も低下している。

		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・客も景気の悪いのが普通となり、当県では新型航空機の就航など良い話はあるものの、基本的な景気の悪さは変化がない。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・週末の売上が減少している。	
		美容室（経営者）	競争相手の様子	・単価を下げても効果がない。	
		住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・客のコスト意識は依然強いものがあり、特に株価が低迷し景気後退の兆しがあるなか、なるべく予算を抑えて住宅を購入したいという意向が強くなっている。	
	悪くなっている	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、野菜、果実を中心に1人当たりの買上点数が減少している。特にみかんは収穫量の多い表年豊作となっているが、暖冬の影響で味も悪く販売不振が続いている。食品全体では暖冬の影響で冬物商材の動きが悪く、売上点数の減少や客単価の低下傾向が現れている。	
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・当店は年内での閉鎖を決めており、それに向けてすでに仕入れも止めて売り減らしに入っている。	
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・域内でディスカウント業界が伸びてきており、地元スーパーやコンビニは苦戦状態である。	
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・テレビの販売量が減少し、非常に厳しい状況である。	
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・本格的な冬になり、季節商材は動いてはいるものの、来客数は少なく、売上也改善していない。	
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・住宅支援機構の長期固定金利の優遇制度が縮小したことや景気の先行き不安から、戸建て住宅の引き合いが少なくなっている。	
企業動向関連	良くなっている	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼業向け工事案件と各地の焼却炉工事の受注が重なり、生産量は大幅な増産となっている。	
	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3か月前と比較すると、水揚げ数量は1,970トン、水揚げ金額は5億3,600万円の増加である。単月の前年比では、水揚げ数量89トン増加の102.9%、水揚げ金額は1億3,900万円増加の121%となっている。	
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・取引先との新たな取引が増え、また新規取引先も増えている。	
	変わらない		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高による輸出等が原因で競争力が低下している。
			金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は過去3か月同様に高水準で推移しており、フル生産で対応している。
			一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・北米を中心とした海外向けの注目が順調に入っているが、円高による為替の影響で採算が取れず、一部の注文を断らざるを得ない状況となっている。
			電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円高の影響とタイの洪水による部品の供給不足が続く明らかな材料はない。今後海外での部品供給量を注視する必要がある。
			輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量に変化はないが高水準で推移している。
			建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・本来なら公共土木・建設関係は最盛期であるが、他地区から同業者が入ってきて競争が厳しいため地元での受注が難しく、非常に厳しい状況になっている。
			建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が鈍り、受注できても依然として小口工事が多くなっている。
			通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災の影響が尾を引き、客からの注文が前年同期に比べて伸び悩んでいる。
			金融業（自動車担当）	取引先の様子	・新興国向けの需要増加などから何とか採算は確保しているが、円高の定着により欧米向け輸出は低迷している。また中国景気の減速から、現地生産も前年比でマイナスとなっている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・10月は当地で国体が開催されたことから、小売・サービス業を中心としてスポット的な売上伸長がみられたものの、国体閉幕後は従来通りの業況となっている。一部では売上の下げ止まりの兆候が出てきているが、反転するまでには至っておらず、3か月前とおおむね同程度の状況である。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数、成約件数とも横ばいとなっている。		
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・法人決算の内容をみても業績が不安定なところが多くなっている。売上高は増加しているものの、利益率が低下しており、期待通りの数値を計上している会社は少ない。		

やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・1回の特売の受注数量が減少していることから、全体的な販売数量も減少している。
	繊維工業（統括担当）	それ以外	・円高や欧州での信用不安の問題もあり厳しい状況にある。
	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの内示が出るたびに受注数量が減少するとともに、中国向けの部品が激減している。逆にタイへの生産援助部品の納品があり、昼夜休日出勤の職場がごく一部ある。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注先も投資にちゅうちよする場面が増えている。
	輸送業（業務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高による業績悪化が続くなか、10月ごろから再度各企業からの値引き要請がきたり、当地からの撤退が決まった客も出てきている。
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・市内大手製造メーカーで組織の大幅な縮小が予定されており、受注量の減少が懸念される。
	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・既存取引先で通信コストの削減や拠点の統廃合が増加しているため、客単価も低下している。
悪くなっている	鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社の販売価格に対して客から値下げ要請がきており、一部値下げ対応をしている。また、今後も更なる値下げ対応が避けられない見込みである。
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・円高など製品価格の調整で非常に厳しい状況となっている。国内生産での価格と海外生産での価格ではかなりの開きがあり、国内生産は非常に苦しい立場に立たされている。
雇用関連	職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店のホール係、調理員は慢性的な人手不足から求人意欲が高い。製造業では世界的な金融不安や長期化する円高により、輸出関係の生産量が減少して求人意欲が低い。またその影響を受け、製造業から派遣会社に対しての求人意欲が低くなっている。
	求人情報誌製作会社（支社長）	求人数の動き	・中途採用の広告出稿額が前年比で20～30%程度増えている。東日本大震災復興需要の影響もあり、建築資材関係でその動きは顕著になっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・県内高校生の就職内定状況は、前年増の70%と3年ぶりに7割を回復している。県内の製造業、販売業、サービス業での求人が増加していることが要因となっている。
変わらない	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は前年同月比で10.2%減少、前月比で1.4%減少となっている。一方、新規求職者数は前年同月比で19.2%減少、前月比で16.9%減少となっている。新規求職者数は今年度に入り前年同月比10%前後の減少を続けていたが、10月は大幅に減少している。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・年末や年度末に向けた繁忙対応要員としての派遣依頼数は増えてきているが、その一方で業務量減少に伴う早めの派遣終了等もあり、全般的な景気はあまり変化がない。
	求人情報誌製作会社（サイト運営担当）	周辺企業の様子	・中国5県各社とも2013年の大卒新卒採用意欲は昨年と比較すると高い傾向にあるが、現在の景気状況が上向きとはいえない。
	求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・欧州の信用不安が半導体の企業を中心に影響を及ぼしており、先行きが不透明な点もあるため、採用活動に踏み切れない企業もある。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・業種別での求人数が大きく変動していない。
	人材派遣会社（支社長）	求職者数の動き	・正社員の転職希望者数が減少してきている。現在の景気動向を踏まえ、今は転職する時期ではないと求職者が感じている。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求職登録者数が横ばいなのに対し、求人登録数は減少している。
	学校〔短期大学〕（学生支援担当）	求人数の動き	・求人数が伸びず待機の学生が多くなっている。
悪くなっている	その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・例年であれば製造業でクリスマス商戦の関連求人やカニなどの水産加工求人が多いはずだが、今年はほとんどないなど、大口求人が少なく、すべての主要産業で前年比減少となっている。
	-	-	-